

まちづくり市民ワークショップ 結果報告書

平成29年3月

加東市

目 次

1	目的	1
2	参加者	1
3	まちづくり市民ワークショップの全体構成	1
4	開催概要	2
5	加東市の将来像等について	3
	（1） 加東市の将来像	3
	（2） 将来像実現のための視点	3
	（3） 分野別の将来像と市民ができること	7
	資料：まちづくり市民ワークショップニュース	15
	まちづくり市民ワークショップ参加者名簿	61

1 目的

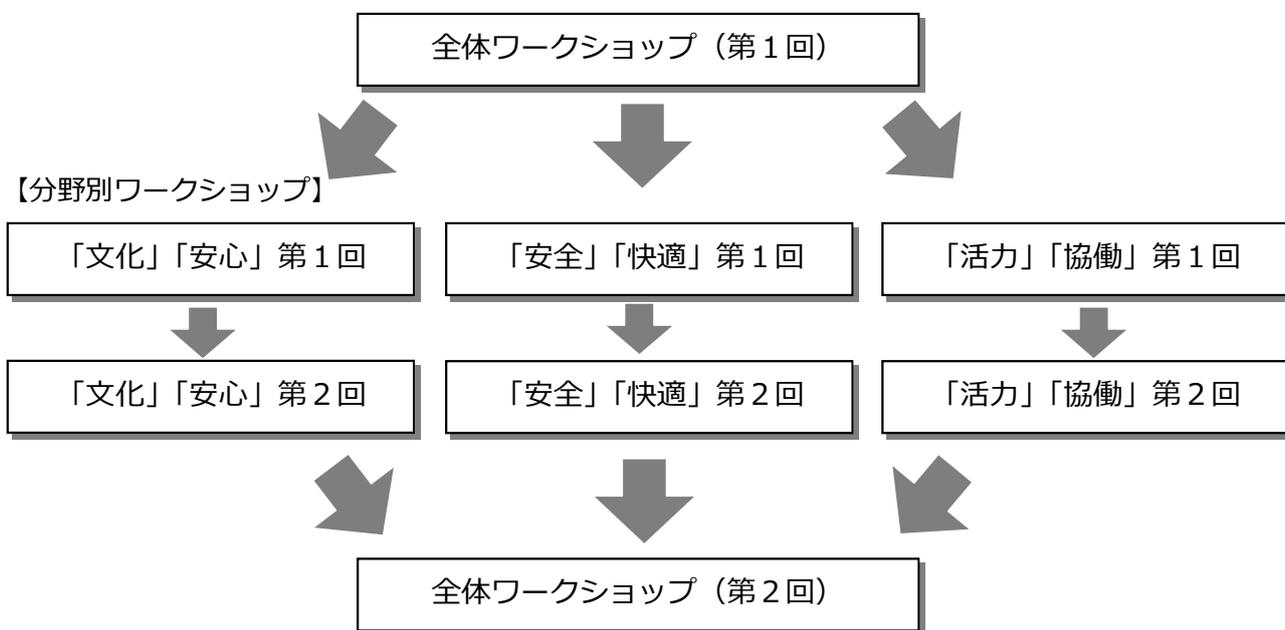
平成 30 年度からのまちづくりの指針となる「第 2 次加東市総合計画」の策定を市民との協働により進めていく観点から、加東市の現状、課題等について自由に意見を交換しながら、10 年後の加東市の将来像やその実現に向けたまちづくり等を市民と共に考え、その結果を当該計画づくりに活用することを目的として「まちづくり市民ワークショップ」を開催しました。

2 参加者

- (1) 一般公募により応募いただいた方
- (2) 無作為抽出による参加案内により申込みをいただいた方
- (3) 団体（まちづくり協議会・加東市商工会）から推薦いただいた方
- (4) 兵庫教育大学から推薦いただいた方（学生）
- (5) 市職員

3 まちづくり市民ワークショップの全体構成

まちづくり市民ワークショップは、全体ワークショップ 2 回と分野別ワークショップ各 2 回（3 グループ×2 回）の計 8 回開催しました。分野別ワークショップでは、第 1 次加東市総合計画の政策体系を基に「文化」「安心」、「安全」「快適」、「活力」「協働」の 3 グループを設定しました。



4 開催概要

「全体ワークショップ」

回数	日時	ワークショップの内容
第1回	平成28年11月12日(土) 13:30~15:30	ワールドカフェによって加東市全体の魅力について情報交換

「分野別ワークショップ」

第1グループ

「文化」「安心」 分野…地域文化、学校教育、生涯学習、子育て支援、福祉・医療など

回数	日時	ワークショップの内容
第1回	平成28年11月26日(土) 13:30~15:30	分野毎の加東市の良いところ、良くないところを未来の加東市につなぐ観点から探り出す
第2回	平成28年12月22日(木) 19:30~21:30	分野毎の加東市の将来像(まちづくりの目標)を、良いところ、良くないところを踏まえて考える

第2グループ

「安全」「快適」 分野…環境、防災、防犯、まち並みづくり、情報発信、公共交通など

回数	日時	ワークショップの内容
第1回	平成28年12月1日(木) 19:30~21:30	分野毎の加東市の良いところ、良くないところを未来の加東市につなぐ観点から探り出す
第2回	平成29年1月14日(土) 9:30~11:30	分野毎の加東市の将来像(まちづくりの目標)を、良いところ、良くないところを踏まえて考える

第3グループ

「活力」「協働」 分野…農業、産業、観光、人権、コミュニティづくりなど

回数	日時	ワークショップの内容
第1回	平成28年12月10日(土) 9:30~11:30	分野毎の加東市の良いところ、良くないところを未来の加東市につなぐ観点から探り出す
第2回	平成29年1月26日(木) 19:30~21:30	分野毎の加東市の将来像(まちづくりの目標)を、良いところ、良くないところを踏まえて考える

「全体ワークショップ」

回数	日時	ワークショップの内容
第2回	平成29年2月4日(土) 13:30~15:30	各グループで考えた分野毎の加東市の将来像(まちづくりの目標)を披露して意見交換を行い、それを踏まえて、加東市全体の将来像を考える

5 加東市の将来像等について

まちづくり市民ワークショップでは、計8回の意見交換を通じ、加東市の魅力、良いところ、良くないところを踏まえて、10年後の加東市の将来像、その実現に向けたまちづくりや市民ができることなどについて、次のような意見が示されました。

(1) 加東市の将来像

その1

『笑顔で「おはよー」いえるまち』

- 笑顔は健康、元気など、人の幸せな姿を象徴
- 「おはよー」は、人と人とのつながりやコミュニケーションが明るくすがすがしい様子を象徴
- 誰もが笑顔で過ごせるまち
- 「おはよー」が聞こえるまち

その2

『住んで良かったまち』

- 「住んで良かった」を広める
- いろいろなことがつながるまち
- ゆとりのある生活ができるまち

その3

『魅力を知って、愛着の持てるまち』(魅力)
『自発的なチャレンジができるまち』(自発)
『家族を育むまち』(家族)

- 魅力…市民が誇りを持てる、歴史を知る
- 自発…個人の力が活かせる、やる気があるまち
- 家族…家族みんなを育み、大切にするまち
- ソフトを進めるためのハード整備も必要

(2) 将来像実現のための視点

① 「ひとづくり」の視点

(ア) 地域文化等

- 地域文化を大切にするまち
- 市民への歴史や産業の情報発信

(イ) 学校教育

- 一人ひとりを大切にする小学校教育
- あいさつの大切さを教える小中高校教育
- かせぐことができる人間の育成
- 加東市の魅力、文化、産業に関する教育

(ウ) スポーツ・レクリエーション

- 生涯スポーツを楽しむことができるまち
- 自分の時間が楽しめ、時間がゆっくりと流れていくまち

(エ) 人権

- 自分のことばかりでなく、他人を助けることができるゆとりのある人材の育成

(オ) コミュニティ

- イベント・行事の支援や参加への声かけ運動
- サークル活動への参加やワークショップの開催
- 新しい人や意見を受け入れる仕組み（親しみやすいまち）
- 地域やご近所同士の交流・つながりがあるまち
- あいさつや声のかけあいがあるまち（交流や助け合い、安心・安全づくり）
- あたたかい人間関係、家族の和、地域の和のあるコミュニティづくり

(カ) 市民主体・自立

- 自発的な活動（チャレンジ）ができ、一人ひとりが成長し、地域が成長するまち
- 地域リーダー・後継者の育成
- 同窓会の応援
- ノウハウや技術、やる気を持った人とそれを必要とする人の出会いの仕組みづくり
- 市民参画機会の充実（アンケート、公共施設運営等を含む。）
- 市民主体のイベントの開催・活性化（魅力発見・発掘イベント等）

(キ) ボランティア

- ボランティアガイド、スポーツボランティアの育成

(ク) 協働

- 産・学・住（市民）の連携

(ケ) その他

- 出会いを重視し、街コンでカップルになって結婚した人に家をプレゼント

② 「くらしづくり」の視点

(ア) 子育て支援

- 育児が低コスト、低リスクでできるまち

(イ) 健康づくり等

- 健康・命を育むまち
- 三世代交流のきっかけにもなる若い人のためのまちかど体操等の普及

○健康、医療、交流、自然を活かして 10 年長生きできるまち

(ウ) 医療

○医療の充実（医師や病院など）

(エ) 地域福祉

○手厚く無理のない福祉制度

(オ) 雇用

○安定した収入と雇用の確保による生活基盤の安定

③ 「まちづくり」の視点

(ア) 豊かな自然

○自然が多いまち

○憩いの場が充実しているまち

○自然との共生に労力を惜しまないまち

○自然資源（山、川、ホタル、ミヤマクワガタ、温泉等）の活用

○公園やビオトープ等の安全・安心の遊び場があるまち

(イ) 交通安全

○交通事故がないまち

(ウ) 防犯

○歩道、外灯、パトロール（見守り）があり、明るく安全なまち

(エ) 道路環境・ネットワーク

○道路体系の整備（特に南北の幹線）

(オ) 公共交通

○コミュニティバスの充実（高齢者の増加への対応）

○市民の交通手段の充実

(カ) 農業等

○山田錦を活用した新たな展開（PR戦略、新しい取組をする企業の支援）

○農作物等のブランド化（有機栽培の野菜づくり、「伝の助うどん」の売込み等）

(キ) 新産業

○新しいことを始める人をサポートする創業特区のような加東市ならではの制度づくり

(ク) 観光産業

○観光産業、観光ボランティアの活性化

- おもてなしの仕組みづくり（カフェ、サロン、伝の助アート、アンテナショップ等）
- 市民協働による観光資源の発掘・整備

(ケ) プロモーション等

- 住んでみたいまち
- 元気で明るいまち
- 魅力を発見し、知ってもらいまち
- 発展しても素朴な雰囲気損なわないまち

(コ) 行財政

- 公共施設や設備が充実しているまち
- 安定した税収が確保できるまち

(3) 分野別将来像と市民ができること

① 「文化」分野の将来像と市民ができること

(ア) 地域文化

- 変わらないことに価値を見出すまち
- 歴史が語り継がれ、伝統を後世に継承するまち
- 新しい魅力を発見できるまち
- 各地域にある文化施設、お寺、神社の活用

(イ) 国際交流

- 異文化交流ができ、心豊かな人間形成ができるまち
- 大学や工業団地などの外国人居住者との交流

(ウ) 学校教育等

- 将来の発展のための教育の充実
- いじめ問題、不登校、家庭問題に目配りできる、きめ細やかな教育
- 全ての子どもが居心地良いと思える教育現場づくり
- 子どもの減少に対応した小中一貫校
- 通学しやすい学校のあり方の検討
- 教育行政と民間教育機関との連携ができるまち
- 民間校長の招聘（活用）
- いじめゼロのまち
- 教育（みんなで子どもを育てる）のまち
- 地域で子どもを見守るまち

(エ) 生涯学習

- 図書館の本貸出件数が多い特色を踏まえた「本を活かしたまち」
- 図書館司書の配置など、ハードを活かすソフトの充実
- 高齢者大学で得たノウハウ・知識のまちづくりへの活用
- 文化、スポーツサークル活動が多く、発表の場があるまち（日々の努力を認めてもらえるまち）

(オ) スポーツ・レクリエーション

- 健康維持のためのスポーツ環境が充実したまち
- ゴルフが身近にできるまち
- フルマラソンの開催
- 自然の中で新たなスポーツ（ボルダリングやバンジージャンプ）ができる拠点づくり
- 世代を超えた生涯スポーツクラブ

- 子どもから年長者、初心者、プロスポーツまでできるまち
- スポーツ施設の充実と中核となる人材・スポーツ指導者の育成

「文化」分野で市民ができること

- 昔の遊び、伝統を高齢者が子ども達に教える
- 地元民のみが知る、昔からある穴場での遊び方を紹介
- 加東市 PR 隊を結成する
- 学校の授業を見学する
- 教育の場の維持、整備
- 見守り活動に参加する
- 趣味を持ち、サークル活動等に参加し、楽しく過ごす
- スポーツイベント等を企画し、参加する
- 指導者としてスポーツに参加する
- 三草山等の隠れた歴史を調べ出す
- ハイキング道を開拓・整備する

② 「安全」分野の将来像と市民ができること

(ア) 豊かな自然

- 自然が多く、心を豊かにするまち
- 太陽光発電の装置がない、自然景観が美しいまち
- 自然環境が整備され、人と自然と動物が共生・調和したまち
- 農地を維持し、憩いのある里山をつくる
- まちと田舎（自然）が共存するまち
- 市民や都会の人が自然に親しみ、田舎暮らしができるまち
- 家庭菜園が楽しめるまち
- 散策ができる公園が多くあるまち
- 自然の中で子どもや親子がたくさん遊べる（遊びに来る）まち
- アスレチックやリゾート別荘体験など自然を活用するまち
- いこいのまち（温泉、ゴルフ、釣り、山歩き、おもちゃ王国、ホテル）
- 山を利用して健康増進できるまち
- 水辺で出会い、くつろげるまち

(イ) 交通安全・防犯

- 交通事故のないまち
- スピードを出してよい道、出せない道の明確化とスピードを抑制する工夫
- 通学路等の歩道の充実や見守り、マナーの向上
- 弱者に優しいまち

- 治安が良いまち
- 子どもが安心して暮らせるまち（通学・防犯など）

(ウ) 防災

- 災害の影響が少ないまち
- 河川災害防止工事の推進

「安全」分野で市民ができること

- 協力して草花を植える
- 環境を美しくするクリーンキャンペーンへの取組
- 水辺公園、安全な遊び場の維持・整備
- 山林の下刈り
- トイレや道端等での清潔感を意識
- みんなが少し、不便（車の速度の抑制等）を受け入れる
- 声かけ運動で近隣のつながりを深める

③ 「安心」分野の将来像と市民ができること

(ア) 子育て等

- 将来のため、子ども達の育成に力を入れるまち
- 子育てしやすいまち（仕事、教育、安全、コミュニティ）
- 学校外で子どもが遊べる場所が多いまち
- 2世帯、3世帯が一緒に住めるまち
- 子育てサークル等の充実したまち
- 保育士、介護士の安定した就業（十分な給与）

(イ) 健康

- 10年長生きできるまち（医療や生活環境）
- 年輩者が病院にかからず生活できる健康なまち
- 自転車が安心して走れるまち（誰でも簡単に健康を維持できる機会）
- 健康維持のためのスポーツ施設（例えばプール）があるまち
- 若いときから健康づくりに市民が参画・参加するまち

(ウ) 高齢者

- 高齢者が住みやすいまち
- 高齢になってもいきいきと過ごせるまち
- 集い・憩いの場所の確保やその場所への移動手段（参加手段）の整備
- まちかど体操教室など体力づくり（介護予防）に高齢者が全員参加するまち

- 老人保健施設が多いまち
- 高齢者も無理なく働けるまち

(工) 医療

- 病気の時にしっかりと診てもらえ、看取られるまち
- 医療の充実したまち（診療時間、救急体制、市民病院の医師・診療科の充実）
- 加東市民病院を毎年黒字が出る総合病院に

「安心」分野で市民ができること

- 自己責任の健康維持、散歩の習慣化
- まちかど体操教室への参加、拡充
- 健康づくりボランティア、市民病院案内ボランティア
- 健康のための有機野菜づくり
- 福祉施設の訪問ボランティア（音楽等）
- 加東市民病院を利用する
- 福祉活動等のポイント化（ボランティアポイントの貯金と活用の仕組み）

④ 「活力」分野の将来像と市民ができること

(ア) 農業

- 山田錦をはじめ、加東市産農産物のブランドの確立
- 農業の多様化（ポスト山田錦、やしろの桃など）と新たな特産品づくり
- 後継者不足を解消し、休耕田が活用できているまち

(イ) 地域産業

- 釣り針のまち（釣り針の生産、釣り場としてのため池の活用）
- スーパー・コンビニ等による買い物が便利なまち
- シャッター通り化している商店街の活性化
- 今ある産業のブランド化

(ウ) 新産業

- 新しいことにチャレンジできる、新規産業を創出するまち
- ハイテク技術を導入していくまち
- 大企業が増え、市民税が減額されるまち
- 大阪、神戸に近い交通拠点としての立地特性を活かした産業創造
- 加東市にあって他市にない高シェアのニッチ産業を育てるまち

(工) 観光産業

- 農業体験ができるまち
- 山田錦などのブランド力があり、観光・特産で知名度が向上しているまち
- 立ち寄りたくなる全国的に知られる観光地があるまち
- 大阪との近さを活かして外国人を含めた市外の人に観光に来てもらい、もてなすまち
- キャラクターの明確なまち
- Facebook、YouTube等SNSによる発信
- まちの強みを活かして他市や企業とコラボするまち
- 「加東四国88ヶ所巡り」の復活など訪れる人をもてなすまち
- 作家・玉岡かおるによるNHK大河ドラマ忠臣蔵の制作など文化産業の振興
- 新作グルメコンクールを開催し商品化

(オ) 雇用

- 雇用を確保するまち、雇用のあるまち
- 就労スタイルや雇用形態の見直しと多様化による働きやすいまち

「活力」分野で市民ができること

- ため池、水路、農道の保全
- 加東市産山田錦使用品に限る日本酒を愛飲
- 地産地消に取り組む
- 商店街など市内の商店を積極的に利用
- 自分で産業を起こす、(とりあえず)動く
- 愛着を持ち、身の回りのことに興味を持つ
- SNS等でまちやいい店、いいところ、いいものをPRする
- テレビ・ラジオ等へのまちの情報の投稿
- 学校等で歴史、産業、特産品などを学び、体験活動に参加

⑤ 「快適」分野の将来像と市民ができること

(ア) 住環境

- 空き家を活用するまち
- 空き家対策など住環境の整備
- 市街化調整区域の市街化区域化又は無指定による人口増加の推進

(イ) 道路環境・ネットワーク

- 道路(歩道・車道・自転車道)が確立したまち
- 原動機付自転車や四輪車が安心して走行できる道路があるまち

(ウ) 公共交通

- 交通の便利な住みやすいまち
- 公共交通が充実したまち
- 誰もが安心して買い物・通院など行きたい所に行けるまち
- JR・神戸電鉄の加東市中心部への延伸
- バスが市内全域で循環しているまち
- スクールバス、コミュニティバス等の利用で快適に過ごせるまち
- 駅周辺への駐車場の設置と、駅までのバスの運行
- 高齢者が円滑に病院へ行ける交通ネットワーク

「快適」分野で市民ができること

- 空き地など用地の提供
- 空き家バンク制度への登録
- 神姫バスやコミュニティバスを利用する

⑥ 「協働」分野の将来像と市民ができること

(ア) 人権

- ダイバーシティを大切にするまち
- 趣味を楽しみ、お互いを認めあえるまち
- 近隣の人々と友好をつくるまち

(イ) コミュニティ

- 人と人とのつながり（絆）が強い、開かれたコミュニティがあるまち
- 人の和や結びつきを大事にするまち
- 地域の人が家外に出ている、公民館や寺社に集まって交流するまち
- 地区における行事や日常のつながりがあるまち
- 「せんどぶり」の聞こえるまち
- 子どもと話ができるまち
- 子どもから高齢者まで、世代を超えた交流や文化があるまち
- 地域だけでなく、市民全員に開かれているイベントがあるまち
- 親しみやすく、移住者や外国人を優しく受け入れるまち
- 困ったことは助け合いで解決するまち
- 弱者を守るまち
- 学校や企業、行政が連携・交流しているまち
- ふれあい事業とコラボ

(ウ) 市民主体・自立

- 子ども、学生、年長者、学生などが趣味などで集い活動できる、趣味が楽しめるまち
- 夢や希望を共有し、市民がいきいきと活躍し、大好きだと思えるまち
- 市民が何かをつくりあげたり、自分のしたいことが実現できるまち
- 市民が得意分野を活かせるまち
- 市民主導で加東市をPRするまち
- 市民がつくる（企画する）全市的なイベントが開かれるまち

(エ) ボランティア

- ボランティアなど住民の自発的な活動ができているまち
- ボランティアグループと行政の協働でコミュニティが広がるまち

(オ) 大学・学生連携

- 市外から新しく来た学生がまちを知り、ふれあい、好きになるまち
- 学生活動がさかんなまち
- 学生による商店街チャレンジショップの支援

「協働」分野で市民ができること

- 弱者のために命を張る
- 人の集まりに出かけ、人と話をする
- 声かけなど地域や隣人と繋がりを持つ
- 世代がちがう人と交流
- 古い習慣を押しつけない
- イベントを実施又は積極的に参加する
- 行政の各種委員会などに参加・協働する
- 市役所や議員と対話して理想を追求する
- 加東市のために何ができるかを考え、行動する
- 家庭内で活発にコミュニケーションする
- 若い世代の声を聞ける「まち人」になる
- 趣味の延長という感覚から行動する
- ボランティアグループとして協働、賛同、参加する
- 学生による商店街のチャレンジショップの運営
- 兵庫教育大学の学生と交流・協働する

⑦ 「その他」分野の将来像と市民ができること

(ア) 行財政

- 公共施設が充実したまち
- 借金の少ないまち
- 公共施設等の駐車場の整備・拡充

(イ) その他

- 「おいしい」(=「美味しい」「良いことがある」)を発信するまち
- みんなが住みやすく、住んで良かったと思えるまち
- 揺りかごから墓場まで安全なまち
- 人口が増え、まちが活気に溢れる中でも、どこかのどかなまち
- ゆとりのある生活ができるまち
- 生活環境が整い、サービスやコミュニティが充実した、一生住むまち

「その他」分野で市民ができること

- 一生住み続けよう！という気持ちを大切にする
- まちの施設を利用する
- まちのことを積極的に知ろうとする

まちづくり市民ワークショップ《第1回全体ワークショップ》 ニュース

日時：平成 28 年 11 月 12 日(土)

13:30～15:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 ワークショップ開催趣旨について
- 4 ワールドカフェ
- 5 今後のスケジュールについて
- 6 閉会



当日の会場の様子

第1回全体ワークショップには、39人の市民の皆さんに出席していただきました。

◆第1回全体ワークショップの内容

- ワールドカフェ方式により、参加者間においてなるべく多くの交流と対話をさせていただく中で、「かとうの魅力」を考えていただきました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、分野別の第1回ワークショップにおける「加東市の良いところ、良くないところ」の検討のきっかけとしていただきます。それを踏まえ、第2回ワークショップにおいて加東市の将来像(分野別の目標など)について検討していただきます。

◆ワールドカフェ

- 最初に市(受託者)からワールドカフェの特徴や進め方の説明を行い、参加者の皆さんにその内容を確認いただきました。
- 続いて、ワールド・カフェの最初の問い「あなたにとって「かとうの魅力」といえばなんですか？具体的な例を挙げて話してください。」について、20分間話し合っていました。
- テーブルを移動していただいた後、第2の問い「私たちにとって、「かとうの魅力」といえばなんですか？未来に残したいもの、もっといいものにしたいことなどを挙げてみてください。」について、20分間話し合っていました。
- 最後のテーブル移動の後、第3の問い「「かとうの魅力」を高めて、未来につなぐために、あなたは(仲間と)何ができますか？「明日からできること」にまで、手元



に引き寄せて考えてみてください。」について、20 分間話合っていました。1 回目、2 回目とあわせ、たくさんの交流と対話を積み上げていただきました。

○そして、最後に参加者の皆さんの意見の収穫として、大きめの付箋紙に〇〇〇〇という「かとうの魅力」を、未来につなぐ・つくるため、わたしは(仲間と)こんなことができる！“こと”を書いていただき、市がパネル上で付箋紙をグルーピングして、整理しました。この付箋紙 1 枚 1 枚がこれからのまちづくりを考えていく上において活かされていくことになります。



◆収穫(ハーベスト)結果

コミュニティ等

- 住み良い「かとうの魅力」を未来につくるために、子育て、医療、交通、文化面を伸ばす
- 自然豊かで交通機関に恵まれている素晴らしい地域「かとうの魅力」を、仲間と加東市以外の人にアピールしていく
- 人と人とのつながりを大事にしてい
- 「地域コミュニティ」という「かとうの魅力」を未来につなぐため、私は地域と子どもが楽しめるイベントを盛り上げることができる！
- 地域(近所)とのつながりを豊かにするため、地域のイベントに参加する
- 人が温かい、人とのつながりが「加東の魅力」であるため、それを未来につなぐため、地域の人達と交流を深め、日頃からコミュニケーションを大切にして地域の力を深めることができる
- 山登りによい、走りやすい、災害の少ないまちやまつりを未来につなげる
- 人の輪をつなげていく
- 誰もが住みやすい「かとうの魅力」を未来につなぐ・つくるために人が集う場・機会づくりのお手伝いをする
- 「子育てがしやすい」(交通の便、公共施設の充実、地域のコミュニティ)という「かとうの魅力」を未来につなぐために、私達は①市民主体の PR 活動やコミュニティの醸成に向けた声かけを地域でしていくことができる！
- 外から来た人を受け入れる寛容性、多様性(ダイバーシティ)のあるまち、山を活用した健康づくりのまち、安全に走れる自転車道路のあるまち、花あふれるガーデンシティ、コミュニケーションを深めて、市民が結合していけるまち
- 自分の意見をしっかり言う
- 自分と同世代以外の方々の考えを知り、その考えに思いやりを持つ

魅力発信

- 魅力が多い！わたしは「かとうの魅力」を SNS を使ってアピールする！！
- 市民から「かとうの魅力」をPRできるように、市民によいところを知ってもら(文化を発展させていく)
- 市民に加東市を知ってもらう
- 「かとうの魅力」を HP・広報・チラシ等(市役所業務の中で)、SNS 等(個人として)で発信する
- 市民も加東市のことを知らない(内部からの醸成)
- 加東市のよいところについて話していく過程で、もっと魅力を PR するとともに、観光産業に力を入れるべき(市役所職員にとどまらず、興味・関心のある人を募集して調べることを手伝ってもら(リタイヤ世代が増えている)、山田錦は全国的に知名度が高い、清水寺とその周辺の川や村、赤穂藩飛び地など…)
- 加東市の PR の必要性はあまりない(セクション毎に知っている) ex.ゴルフ場、清水寺、東条湖、朝光寺等、東京の人に知らなくてもよい
- 酒米山田錦の産地である「田園かとう」の魅力、ゴルフのまちかとうを伝える
- 豊かな自然、神事、山田錦や釣り針など、誇れるものが多い「かとうの魅力」を未来につなぐため、その魅力を一人でも多くの人に話をする(知ってもらう)、PR する
- 衣食住や交通にしてもそれなりに揃っている無難さを PR する(地域活動に参加)



山田錦等農産物

- “農業”という「かとうの魅力」を未来につなぐために、野菜・果物・米等を大切に食べる！
- 山田錦、日本酒のおいしさを若い人に伝え、自然豊かな加東を若い人と共有したい
- 山田錦という魅力を残していくため日本酒を飲む
- 山田錦の魅力を伝えるため色々な人と酒を飲む(祭りに参加する)

文化歴史等

- 加東市の歴史掘り起こし(①赤穂藩飛び地、吉田忠左衛門が住んでいた社を大河ドラマでPR、②清水寺のルーツの探索(京都清水寺より古く鴨川、黒谷もある))
- 赤穂浪士にまつわる事柄について関心のある方を募集して調べる(高齢者が集える場を作る)
- 祭りや布団屋台という「かとうの魅力」を未来につなぐため、祭りに参加できる健康な体づくり(ゴルフ、山登り等を通じて)を行う
- 資源(魅力)たっぷりの物を集約して、柱をつくり、PR する(私は仲間と積極的に参加できる(参加型))
- ハイキングコースを整備して連結する

その他

- ハーモニカや歌をグループホームなどで披露する(高齢者の中で活動)
- 健康づくり
- ゴミの量を減らす
- 公園の美化を続けて推進していく
- 地域の魅力箇所巡りをグループで行う
- 公園が多いので、積極的に利用するとともに、知人に勧める
- 県立播磨中央公園の花と緑を守る
- 人口を増やすこと



◆次回(第1回分野別ワークショップ:「文化」「安心」分野)の予定

日時:11月26日(土)13:30~

場所:加東市社公民館 2階 研修室

内容:「文化」「安心」分野における加東市の良いところ、良くないところについて意見交換等を行う。

発行:まちづくり市民ワークショップ事務局(加東市協働部企画協働課)

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp

まちづくり市民ワークショップ《第1回分野別「文化」「安心」》ニュース

日時：平成 28 年 11 月 26 日(土)13:30～15:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 加東市の現状等について
- 3 ワークショップ
「加東市の良いところ、良くないところ」について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 閉会



当日の会場の様子

第1回分野別「文化」「安心」のワークショップには、13人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第1回分野別「文化」「安心」のワークショップの内容

- ワークショップに先立ち、事務局から、加東市の現状について説明を行いました。
- 加東市の現状についての説明の後、ワークショップ方式で、加東市の「文化」「安心」分野における「良いところ」「良くないところ」を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報交換（共有）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次回の分野別「文化」「安心」のワークショップにおける分野別将来像（まちづくりの目標）の検討のための材料としていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「文化」「安心」分野における「良いところ」「良くないところ」を、KJ法という手法を用いて次のおり整理していきました。
- まずは、参加者全員が「良いところ」を黄色の付箋紙に、「良くないところ」を赤い付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交流をしました。



○テーマは「文化」「安心」ですが、その枠にとらわれず、幅広く関連する「良いところ」「良くないところ」を出していただきました。

○これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った「良いところ」「良くないところ」を整理しました。

○そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換を行いました。



◆ワークショップの結果発表(「文化」「安心」分野における「良いところ」「良くないところ」) Aグループ

「文化」等の良いところ

- 嬉野台生涯教育センターがある
- 兵庫教育大学があり、国際交流が多いので良い
- 学校教育が充実していると思う
- 地域文化の継承が続いているので大変良いと思う
- 県の学校（高齢者、生涯教育）があるので文化が充実している様に思う
- 市内に大学がある
- 学校が多く充実している
- 文化的な習い事が多数あり、退職後の趣味として利用しやすい
- 高齢者大学などが素晴らしいと思う
- 伝統が伝えられている
- 学校教育が良い
- 学校と行政との教育連携ができている
- 図書館が充実している
- 音楽活動が充実している（吹奏楽、コーラスなど）
- 自然が多い
- 自然が豊かなため、外でのスポーツが安心してできる
- スポーツレクリエーションが充実していると思う
- ゴルフ場が多く、ゴルファーや市の財政面において良い

「文化」等の良くないところ

- 小学校統合は地域をこわす（従来は歩いて行けたが、統合後は2kmが6kmとなる）
- レクリエーションを推進されているが他市よりアピールが弱い
- 緑の破壊（太陽光発電）
- 村社会が残りすぎている



「安心」等の良いところ

- 人が温かい
- 家庭が安定している
- 高齢者施設が多い様に思うので良い
- 老健施設等が多くあり安心である
- まちかど体操教室が多くの地区で行われている
- 病院、医院、歯科医院など医療施設が多くある
- コンビニが多く便利で、高齢者や一人暮らしの方も安心である
- 挨拶ができる（子どもと大人が声をかけあうことで地域のつながり、安心とつながっている）
- 子育てサークルの数が多い
- 待機児童がゼロ
- 財政的に市は借金が少ない方である

「安心」等の良くないところ

- 市民病院の診療科目が少ない
- 障害者に対する福祉があまり充実していない様に思う
- 総合病院が欲しい
- 将来の人への手当てが弱い
- 高齢者が多くなってくるので何よりも先に高齢者福祉を考えなければいけないと思う
- 公共交通機関が少ない
- 車社会、バスが少ない
- 水害に対して毎日心配する地域（加古川、東条川）がある
- 市のアピールが弱い
- 外から見ると「カタイ」まち
- 柔軟な小野市と比較し、市の独自色が必要である
- 行政側に独自色がない

B グループ

「文化」等の良いところ

【兵庫教育大学】

- 兵庫教育大学生が集まっており、まちづくりに活かせる
- 兵庫教育大学と小学校との交流も生まれている
- 中国、韓国等の留学生も来るので、国際化にもつながる

【高齢者大学】

- 高齢者大学があり、熱心で活発な高齢者がいる

【嬉野台生涯教育センター】

- 嬉野台生涯教育センターがあり、多様な活動が行われている

【図書館やホールなどの文化施設】

- 図書館の貸出密度 No.1
- 図書館数全国水準以上
- 図書館が多い
- 市立で4つ（大学図書館を加えると5つ）あり、それぞれ休館日が別で使いやすい
- 文化会館が多く、ホールも3つある

【スポーツ】

- 加東市民スポーツ大会で幅広い（子ども～大人）年代の人の交流が行われている

【レクリエーション、イベント】

- 「秋フェス」などのイベントにたくさんの人に関わる

【歴史自然】

- 国宝の寺（朝光寺）があり、5月5日の鬼まつりが有名

「文化」等の良くないところ

【スポーツ】

- 公共体育施設としてのプールがない

【歴史自然】

- 朝光寺本堂は国宝だが、普段は人が少ない
- 清水東条湖立杭県立自然公園があるが現状ではそれぞれのつながりが弱いのでは
- ハイキング道があればよいのに
- これらの資源のPRが不十分であり、魅力を高めるためのプラスアルファがない



「安心」等の良いところ

【市民病院】

- 市民病院の存在が大きい
- 市民病院の一層の活用を

【健康づくり】

- 健康づくりが推進されている
- まちかど体操教室など高齢者の健康・体力づくりが進められている
- まちかど体操教室は、体操（45分程）だけでなく、ゲートボールやハーモニカなどの多様な組み合わせ（計2～3時間）があり、多様な広がりがある

【子どもの医療】

- 子どもの医療費免除の対象年齢が中学生まで

【子育て環境、子育て支援】

- 自然を生かしたレクリエーション施設がある（冒険ができる「やしらの森公園」）
- 良い施設があり、指導員（先生）もいる（きのこや野草とりなどのイベントがある）
- 子どもが遊べる公園が多い
- 播磨中央公園がある
- 児童館が多い
- 子育てネット（年2回くらい）がある
- 地域での子ども中心のイベントが多い

【レクリエーション施設】

- ぼかぼがある

【ごみ】

- 生活ゴミの分別、減量化が進んでおり、1人当たりのごみの量が少ない

【買い物便利】

- 手軽に買い物ができる施設がある

【親しみやすい人柄】

- 親しみやすい人が多い

「安心」等の良くないところ

【市民病院】

- 土日、午後診療がない
- 産科がない
- 医師不足
- 医療連携が不十分である
- 大きい病気の場合は市外の病院（北播磨総合医療センターなど）へ行くが、そのために渋滞が慢性化している

【老老介護】

- 「貞守事件」の対応
- 老老介護は福祉問題として深刻だ
- 老老介護の状態であっても市に相談にも来れない人が増えているが、その実態は把握できていない

【子どもの医療等】

- まちなかの公園に日陰が少ない（夏場大変暑い）
- 子どもたちへの自転車通行教育の徹底が必要（数台並んで走っていたりする）
- 近隣（小野市では高校生まで）に比べると遅れている

【自転車】

- 自転車道の充実を



◆次回(第1回分野別ワークショップ:「安全」「快適」分野)の予定

日時：平成28年12月1日(木)19:30～

場所：加東市社公民館 2階 研修室

内容：「安全」「快適」分野における加東市の良いところ、良くないところについて意見交換等を行う。

発行：まちづくり市民ワークショップ事務局（加東市協働部企画協働課）

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp

まちづくり市民ワークショップ《第1回分野別「安全」「快適」》ニュース

日時：平成28年12月1日(木)19:30～21:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 加東市の現状等について
- 3 ワークショップ
「加東市の良いところ、良くないところ」について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 閉会



当日の会場の様子

第1回分野別「安全」「快適」のワークショップには、13人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第1回分野別「安全」「快適」のワークショップの内容

- ワークショップに先立ち、事務局から、加東市の現状について説明を行いました。
- 加東市の現状についての説明の後、ワークショップ方式で、加東市の「安全」「快適」分野における「良いところ」「良くないところ」を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報交換（共有）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次回の分野別「安全」「快適」のワークショップにおける分野別将来像（まちづくりの目標）の検討のための材料としていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「安全」「快適」分野における「良いところ」「良くないところ」を、KJ法という手法を用いて次のおり整理していきました。
- まずは、参加者全員が「良いところ」を黄色の付箋紙に、「良くないところ」を赤い付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。



○テーマは「安全」「快適」ですが、その枠にとらわれず、幅広く関連する「良いところ」「良くないところ」を出していただきました。

○これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った「良いところ」「良くないところ」を整理しました。

○そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換（共有）を行いました。



◆ワークショップの結果発表(「安全」「快適」分野における「良いところ」「良くないところ」)

A グループ

○安全を満たした上に快適があるのではないか。

○安全の良くないところが減ると、快適の良くないところが増える←むしろ良いこと。良くないところがより高次のものに移動することが、加東の発展の指標になるのではないか。

「安全」等の良いところ

《防災》

- 災害が少ない
- 洪水等の際、なぜか加東市の道路は冠水しない（加西市等はよく通れなくなる印象を受けるのと比べて）

《防犯》

- 加東警察がパトロールしてくれており、安心できる
- 小学生等の見守り隊がある

《地域》

- 近所づきあいがそれなりにある
- 地域の繋がりが強い
- 昔からの知り合いが多い
- 地域のネットワークが生きており、隣人との交流等で温かみを感じるという地域の特色がある
- ゴミの分別が細かい！

《情報》

- 防災メールサービスがある
- 音声告知放送で火事の情報が知れる
- 大雨の時にCATVで川の状態が分かる
- CATVで情報等を知ることができる

《その他》

- 水がきれい、特に飲料水は安心、安全であると思う
- 楽しく勇躍体操などを行うまちかど体操教室を含めた高齢者の筋力アップ等を目指した取組があり、転倒予防等に良い
- 街灯がないことで、夜は星がキレイに見える

「安全」等の良くないところ

《防災》

- 消防団への加入が少なく、消防団員が高齢化している

《防犯》

- 暗いところがある
- 空き家が問題でこれからも増加しそう
- 防犯意識が低いかも

《地域》

- 子どもの数が減っており、高齢者が増えている
- 結婚していない人が増えている
- 獣害が目立つ→畑の野菜が食べられる
- 人口の偏り、地域格差がある

《情報》

- ネット通信がしにくい所がある
- 加東市の情報が若い人達に伝わらない

《その他》

- 救急要請をしても受け入れ先の確定に時間がかかっている
- 医療関係が充実していない
- 自転車道がないので整備をして欲しい

「快適」等の良いところ

《環境》

- 適度に緑がある
- 緑がたくさんある→癒やし→目に良い
- 市内住宅街に緑が多く、落ち着いた雰囲気をよく感じる
- 市内各所に公園がある
- 豊かな自然と共存しており、自然とふれ合うことができる
- 大きな播磨中央公園がある
- 緑が多く、公園も充実している
- 安全な公園がたくさんある（柵がある）
- 市役所近辺の道路の交差点に広場があり、見晴らし景観が良い

《教育》

- 保育園から大学まであるので、一生住もうと思えば住める
- 兵庫教育大学を中心に教育施設が多く存在しており、子育てにおいて安心できる
- 兵庫教育大学がある
- 文化遺産が多数ある
- 図書館の利用者が多い
- 手話が積極的に推進されている

《交通》

- 道路が整備されている
- 電車や高速道路が通っている
- 中国道インターが2ヶ所あり、交通網が良い
- 自動車を所有していると意外と交通の便がよく他の都市と行き来がしやすい
- 372号、175号の国道がある

《農業》

- 食材の自給自足ができる
- 田畑で十分なお米と野菜が採れる
- 酒米の山田錦と山田錦種苗の産地
- 東条川疏水系で畑が潤う
- 東条川、千鳥川（三草川）、加古川などの河川がある

《その他》

- ゴルフ場が多い
- 工業団地が東条（南山・森尾）、佐保（社）、滝野の4ヶ所あり、通勤しやすい
- ペット（犬）を飼っている人が多い
- 戸建てが多い
- スーパーやコンビニが適度にあり、生活に困らない

「快適」等の良くないところ

《交通》

- 電車が1時間に1本しかなく、無人駅である
- バスの運行本数が少なくなっている

《農業》

- 農薬を多く使用している（農家）

《その他》

- 昔より川が汚くなっている
- 本屋、映画館といった文化的な娯楽施設が少なく、市外へ需要が流出している



Bグループ

「安全」等の良いところ

《災害》

- 災害が少ない

《コミュニティ等》

〈コミュニティ〉

- 地域コミュニティが良い
- 老人会、PTA、防犯協会等の活動が活発
- 道普請、溝ほりなどいろいろある（しかし維持ができなくなってきた）

- 住んでいる人がよい

〈消防団〉

- 地区の消防団の活動が活発で、青年団としても活動しており、防犯と交流の場となっている

〈CATV〉

- CATVにより市の情報や地域活動を見ることが出来る
- CATVにより地域の情報を共有できる
- 小地域福祉活動等の実施により、高齢者等の様子が分かりやすい

《子育て》

- 見守り隊がある
- 自然が近い（子育て）

《病院》

- 市民病院の存在（平常時は大丈夫でも非常時には必ず要る）
- 市民病院は「みとり」の病院であってよいのではないかと

「安全」等の良くないところ

《コミュニティ等》

〈コミュニティ〉

- 新しく来た住民との付き合いがあまりない
- 機会が少ない（どうやっていくのか）
- 神社、お寺、池の堤防など、引き継いできたものをどう伝えていくのが悩ましい
- 高齢者世帯一人暮らしの増加（地域の繋がりが減ってきているので支えられない）

〈消防団〉

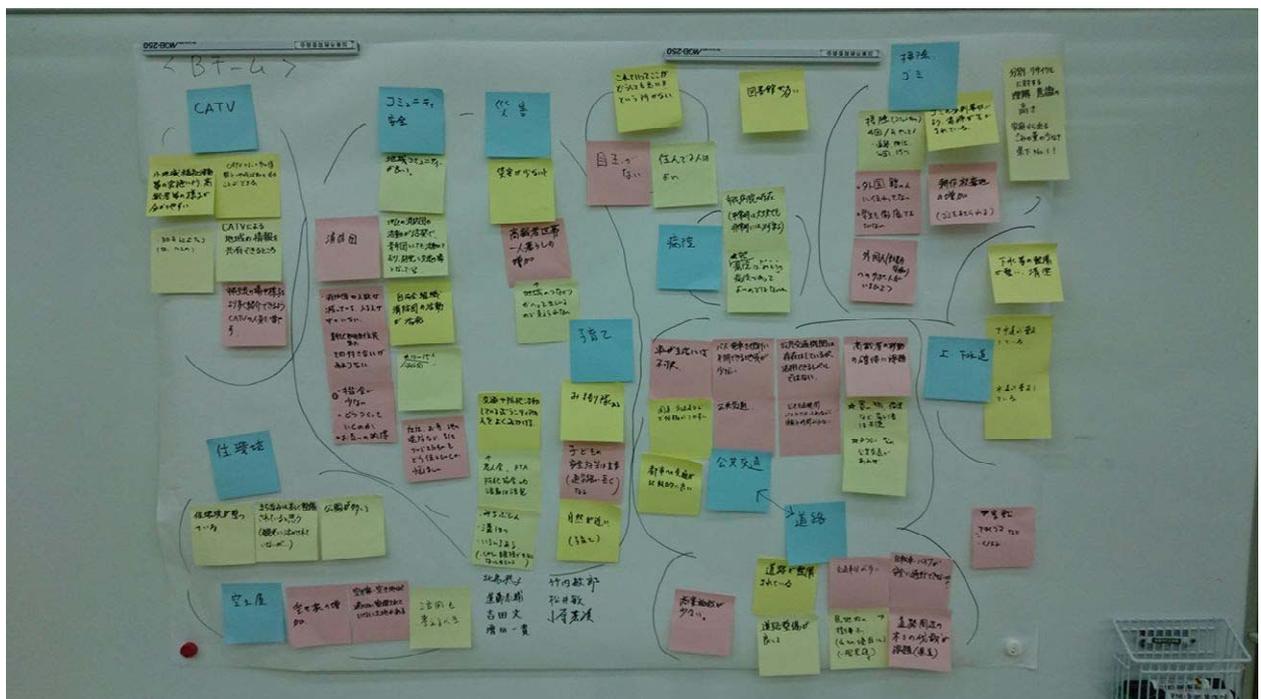
- 消防団の人数が減っており、入る人がなかなかいない

〈CATV〉

- 市民交流の場や様子をより多く紹介できるようにCATVの人員を増やすべき

《子育て》

- 子どもの安全対策は重要（通学路が長くなる）



「快適」等の良いところ

《道路》

- 都市への交通が比較的良い
- 国道、高速道路などで移動がしやすい
- 道路が整備されている

《住環境》

- 住環境が整っている
- まち並みは美しく整備されていると思う（観光に活かされていないが）

- 公園が多い

《空き家》

- 空き家の活用も考えるべき

《掃除、ゴミ》

- 家庭から出るゴミの量の少なさ、県下 No.1
- 分別・リサイクルに対する理解・意識の高さ
- ゴミの分別収集により、資源が活かされている
- 道路、神社、公園、河川などの掃除（コミュニティなどの）を年4回やっている

《上下水道》

- 下水等の整備が整い、清潔
- 水道が普及している

《全般的に》

- これといってここがどうしても悪い!!というところがない

《その他》

- 図書館が多い

「快適」等の良くないところ

《道路》

- 交通事故が多い
- 自転車・バイクが安全に通行できない
- 道路周辺の木々の伐採が課題（県道）、また、民地内の樹木の管理ができていない（山との境目、一般家庭の敷地内などで）

《公共交通》

- 車が生活には不可欠
- バス・電車を便利に利用できる地域が少ない
- 公共交通機関は存在しているが、活用できるレベルではない
- 高齢者の移動手段の確保に課題
- 公共交通機関、バスやJRはあるが便数や時間が少ない
- 買い物、通院など高齢者は不便
- タクシー型の公共交通があれば

《空き家》

- 空き家の増加
- 空き家、空き地など適切に管理されていない土地がある

《掃除、ゴミ》

- 外国籍の人に伝わっていない、また、学生も徹底できていない
- 耕作放棄地の増加（ゴミが捨てられる）
- 外国人（短期労働者）へのサポートがいまひとつ

《全般的に》

- 目玉がない

《その他》

- 商業が少ない
- 害獣がおり、アライグマ、イノシシなどが出て農作物がやられる

◆次回（第1回分野別ワークショップ：「活力」「協働」分野）の予定

日時：平成28年12月10日（土）9:30～

場所：加東市社公民館 2階 研修室

内容：「活力」「協働」分野における加東市の良いところ、良くないところについて意見交換を行う。

発行：まちづくり市民ワークショップ事務局（加東市協働部企画協働課）

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp

まちづくり市民ワークショップ《第1回分野別「活力」「協働」》ニュース

日時：平成 28 年 12 月 10 日(土)9:30～11:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 加東市の現状等について
- 3 ワークショップ
「加東市の良いところ、良くないところ」について
- 4 今後のスケジュールについて
- 5 閉会



当日の会場の様子

第1回分野別「活力」「協働」のワークショップには、14人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第1回分野別「活力」「協働」のワークショップの内容

- ワークショップに先立ち、事務局から、加東市の現状について説明を行いました。
- 加東市の現状についての説明の後、ワークショップ方式で、加東市の「活力」「協働」分野における「良いところ」「良くないところ」を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報交流を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次回の分野別「活力」「協働」のワークショップにおける分野別将来像（まちづくりの目標）の検討のための材料としていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「活力」「協働」分野における「良いところ」「良くないところ」を、KJ法という手法を用いて次のおり整理していきました。
- まずは、参加者全員が「良いところ」を黄色の付箋紙に、「良くないところ」を赤い付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。



- テーマは「活力」「協働」ですが、その枠にとらわれず、幅広く関連する「良いところ」「良くないところ」を出していただきました。
- これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った「良いところ」「良くないところ」を整理しました。
- そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換（共有）を行いました。



◆ワークショップの結果発表(「活力」「協働」分野における「良いところ」「良くないところ」) Aグループ

「活力」等の良いところ

《農業・山田錦等》

- 「山田錦」ブランドを活かしたまちづくりができる
- わかりやすい特産（山田錦等）がある（酒はなじみがある）
- 農業しやすいまち
- 山田錦・三草茶うどんがある（それ以外の加東市独自の
新名物・商品を作り出す必要がある）

《自然》

- 山が多く、緑が多い
- やしらの森公園において自然体験教育（県）がある

《観光》

- 東条湖周辺に観光地等（子育て世代：東条湖おもちゃ王国、若者：東条湖でのバスフィッシング）がある→PRが必要

《その他》

- 飲食店が多く、わかりやすい

「活力」等の良くないところ

《農業・自然》

- 農地や公園において獣害（イノシシ、シカ、キツネ、アライグマ）が多い
- まち並みづくりに関して、豊かな自然の保全が遅れている
- 森林の伐採による問題（太陽光発電等設置）がある

《交通等》

- JRの最終便が早く、本数が少ない
- 子育て世代にとって公共交通が貧弱である
- 高齢化に向けての対策としてバス交通が不便である
- ネット社会を活用した市外や遠方の人に加東市で働ける環境がない

《観光》

- 目玉となるようなスポットがない

〈今後の課題〉市観光協会や観光事業者（地）と市との関係強化

「協働」等の良いところ

《協働等》

- 人に優しさ、温かみがある
- 滝野はオープンで住みやすい
- 市民の方による団体がたくさんあるように思う
- 社高専生活科学科との協働により、地域食材（三草茶うどん、やしろの桃ジャム）がPRされている

「協働」等の良くないところ

《協働等》

- 旧町意識が根強い
- 団体についての情報が少ない（とりまとめる部署が必要ではないか）
- 空き家対策が遅れているのではないか
- PRが必要



B グループ

「活力」等の良いところ

《住みよさ》

- 便利なまち、住みやすいまちである
- 図書館が充実している
- 新しいお店ができています

《自然》

- 公園が多い
- 広い公園など、広い空間がいっぱいある
- 自然の豊かさがある
- 素晴らしい山がある（活用されていないが）
- 登山ができる
- 釣りができる

《地域資源》

- 音楽のまちである
- 東条文化会館コスミックホールで木管コンクールが行われている
- 温泉がある
- 観光産業では、外部から見た加東市の魅力的な材料がある（要活用）
- 忠臣蔵のまちである

《農》

- 有名な山田錦を生産している
- 滝野なす、山の芋、やし茶などが有名
- やしらの桃が有名
- 無農薬の野菜づくりに取り組まれている（主婦の皆さんのボランティアで）
- 野菜はふれすこ社店が人気（個人名で出品されており安心）
- 誇りをもって農業をやっている人がいる（収益というよりも）
- 山田錦のまちである

《交通と工業》

- まちなかは信号が少なく走りやすい
- 交通の便が良い（道路がよい）
- 街に出やすい（高速を使って大阪・神戸へ）
- 大阪に近い
- パナソニック、凸版印刷など大手の工場が立地している
- 工業団地が人口維持につながっている

「活力」等の良くないところ

《住みよさ》

- 古くからの商店や商店街が減っている

《自然》

- ソーラーパネルの設置については、エネルギーのためにはなるかもしれないが、自然がなくなる
- 森林の保全が必要
- 川が活用されていない（水に癒されるという意味）

《地域資源》

- 特長を生かしきれていないまちである
- 地味なまちである

《農》

- 農業者（農業経営）の立場からは難しい面もある
- 農地の減少や農家が減少するなかで、農業の高度化をどのように図るかが課題
- イノシシやシカの被害（獣害）をどのようにするのか課題

《交通と工業》

- コミュニティバスがない
- 生活には車が必要
- 交通の便が悪い（公共交通が弱い）
- 国道 175 号を通過してしまう（地域に定着しない）
- 企業誘致に不利
- 自転車安心して走れる道がない

《PR》

- 四十七士の 1 人である吉田忠左衛門（加東市にゆかり）を知らない人もいる
- 加東市の知名度が低い
- PR ができていない、PR や情報発信が下手なまち
- 市の PR が必要
- 市民の誇りとしての PR が大切
- 加西市の「根日女（ねひめ）」のような小学校からの郷土の歴史の植え付けも必要





「協働」等の良いところ

《子ども見守り等》

- 子どもの見守り隊の方が下校時に危ないところ立ってくださるだけで安心感が違うし、防犯にもつながっている
- 他地域からの移住者にも優しい

「協働」等の良くないところ

《コミュニティ等》

- 町内会が硬直化している（人の意見を聞かない人がいる）
- 外部から入ってきた人に町内会等の説明が不十分
- 人権が守られていない
- 結びつきを強める仕組みがある
- ボランティア活動が活発に行われていない
- 近隣自治体では、ボランティアで石切り場の保全、山の道の掃除などを行っているところもある
- ゴミ捨てが不便で、缶、瓶、産業ゴミの回収が月1回しかない

◆次回（第2回分野別ワークショップ：「文化」「安心」分野）の予定

日時：平成28年12月22日(木)19:30～

場所：加東市社公民館 2階 研修室

内容：「文化」「安心」分野における加東市の将来像（まちづくりの目標）について

発行：まちづくり市民ワークショップ事務局（加東市協働部企画協働課）

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp

まちづくり市民ワークショップ《第2回分野別「文化」「安心」》ニュース

日時：平成 28 年 12 月 22 日(木)19:30～21:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 ワークショップ
「文化」「安心」分野における加東市の将来像（まちづくりの目標）について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 閉会



当日の会場の様子

第2回分野別「文化」「安心」のワークショップには、10人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第2回分野別「文化」「安心」のワークショップの内容

- ワークショップ方式で、第1回で検討した加東市の「文化」「安心」分野における「良いところ」「良くないところ」を踏まえた分野別の将来像を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報共有（交換）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次の全体ワークショップにおいて発表していただき、分野間で共有し、意見交換をしていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「文化」「安心」分野における将来像を、KJ法という手法を用いて整理していきました。
- まずは、参加者全員が分野別将来像を付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- テーマは「文化」「安心」ですが、その枠にとらわれず、幅広く加東市の将来像を出していただき



ました。

- これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った将来像を整理しました。
- さらに、将来像を実現するために、市民ができることを付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換（共有）を行いました。



◆ワークショップの結果発表(「文化」「安心」分野における加東市の将来像と市民ができること) Aグループ

「文化」等の将来像と市民ができること

【伝統】

<将来像>

- 変わらないことに価値を見出すまち
- 古い伝統を継承し、後世に引き継ぐ

【コミュニティ】

<将来像>

- 地域の公民館に沢山人が集まって交流
- 人の和が保てるまち
- 人が門に出ているまち
- 市街化調整区域をなくし、市街化区域か無指定にして、人口増加を推進する
- 「せんどぶり」の聞こえるまち
- 子どもと話ができるまち
- 子どもから高齢者まで、色んな世代が一緒になってしている行事が多いまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 人の集まりに出かける
- 人と話をする
- 散歩を生活習慣にする
- 見守り活動に参加する
- 近隣の声かけをしていく
- 地域やとなりの方との繋がりを持つ
- 昔の遊び、伝統を高齢者が子ども達に教える

【子ども】

<将来像>

- 教育関係が充実して欲しい、将来の発展の為に！
- 通学がしやすいように学校のあり方を考えて欲しい
- 将来の為、子ども達の育成に力を入れるまち
- 子どもが安心して暮らせるまちになって欲しい（通学・防犯など）
- 2世帯、3世帯が一緒に住めるまち

「文化」等の将来像と市民ができること

【交通】

<将来像>

- 交通の便利な住みやすいまち
- 誰もが安心して買い物・通院など行きたい所に行ける
- JR・神戸電鉄を市の中心に線路を延長し、市民の足にしてい

<市民ができること、やるべきこと>

- 神姫バスやコミバスを利用する

【自然】

<将来像>

- 自然が多いまちに（自然破壊しない）
- 太陽光発電のないまち 自然景観が美しいまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 協力して草花を植えていく

【スポーツ】

<将来像>

- スポーツができる環境に力を入れ健康維持する
- ゴルフが、子ども・高齢者に安くできる身近なまち
- フルマラソンが開催できる市にし、スポーツレクリエーションを充実していきたい

<市民ができること、やるべきこと>

- スポーツに参加できる行事を考える

「安心」等の将来像と市民ができること

【医療】

<将来像>

- 借金の少ないまちにして欲しい
- 加東市民病院を総合病院にし、毎年黒字が出る病院にしたい
- 医療の充実（市民病院の医師・診療科が増える）
- 総合病院の建設をして欲しい

<市民ができること、やるべきこと>

- 加東市民病院を利用する

【高齢】

<将来像>

- まちかど体操教室を永久に続け、65 歳以上の高齢者が全員参加するような市にしたい
- 老健施設が多いまちになって欲しい
- 元気でイキイキとした高齢者が多いまち
- 高齢者が住みやすいまち
- 高齢者大学の活動が加東市民に役立つようにノウハウ・技術教育等を活かしていきたい

<市民ができること、やるべきこと>

- まちかど体操教室に参加



Bグループ

「文化」等の将来像と市民ができること

<将来像>

【健康スポーツ】

- 若者が自然の中でスポーツ（ボルダリングなど）ができる新たな拠点
→バンジージャンプ（自然を売りにして）
- 健康維持のためのスポーツ施設が充実したまち
- 自転車が安心して走れるまち
→（誰でも簡単な）健康の維持の機会

【移動（活動にも移動が必要、移動できれば活動も活発に）】

- バスが絶え間なく循環しているまち
→自転車専用道、国道、通学路の位置づけを明確に
- スクールバス、コミュニティバス等の利用により快適に過ごせるまち
- 市内全域にバスの運行を

【異文化交流】

- 異文化交流ができ、心豊かな人間形成ができるまち
→大学や工業団地など外国人居住者との交流

【教育】

- きめ細やかな教育（少人数）
→みんなにちゃんと目配りできる（いじめ問題、不登校、家庭問題に対して）
- 全ての子どもが教育現場で居心地が良いと思えるまち
- 歴史が語り継がれるまち

【集】

- 集える場所への移動手段（参加手段）
- 高齢者が身近に集える文化
- 高齢になっても生き活きと過ごせるまち
- 高齢者が憩えるまち
→図書館など歓談の場（歩いて集まれる）
→生涯学習とか誰でも集える場（囲碁、ゲームなど）

【学生、学園都市】

- 新しく来た人が加東市を好きになるまち
→学生が地域を知る機会づくり
→加東市のパンフコーナーを大学に設置
→大学生の口コミネットワークの活用
→加東市のオリエンテーリング（大学生向け）

【市民交流】

- 市民全員が参加できる文化
→夏は花火大会や盆踊り（今は地域ごとに分断されている）
→地域に身近で市民全員に開かれているイベントなど
→子どもが動くと親・おじいちゃん、おばあちゃんもついてくる
- いきいきと活動できるまち
→お祭りで手づくり商品の販売
- いろいろな世代が関わることができるまち
→子どもと学生、年長者と学生などの趣味の集い（料理とか）

<市民ができること、やるべきこと>

- 加東市 PR 隊の結成
- 兵庫教育大学の学生さんとの交流
- イベント企画ボランティア
- 大学生に加東市の魅力を伝える窓口
- 加東市の良い所を大学生に聞く
- 学生によるまちづくり（参加、つながり）
- 三草山等の隠れた歴史を調べ出す
- ハイキング道開拓のボランティア
- 地域や市のイベントに参加する（声かけ）

「安心」等の将来像と市民ができること

<将来像>

【安心全体のビジョン】

- 10年長生きできるまち（医療や自然・生活環境）
 - 自然は心を豊かにする（歩き回るきっかけにも）
- 人と人との繋がり（絆）が強いまち

【子ども子育て】

- 子どもが遊ぶ場所が多いまち
 - 神社など気軽に遊べる場
- 子育てとサークル等の充実したまち
- 保育士、介護士の安定した就業
 - 給料をちゃんと支払う

【高齢者】

- 高齢者の体づくり（まちかど体操教室等）
 - 市全域に広げよう

【健康】

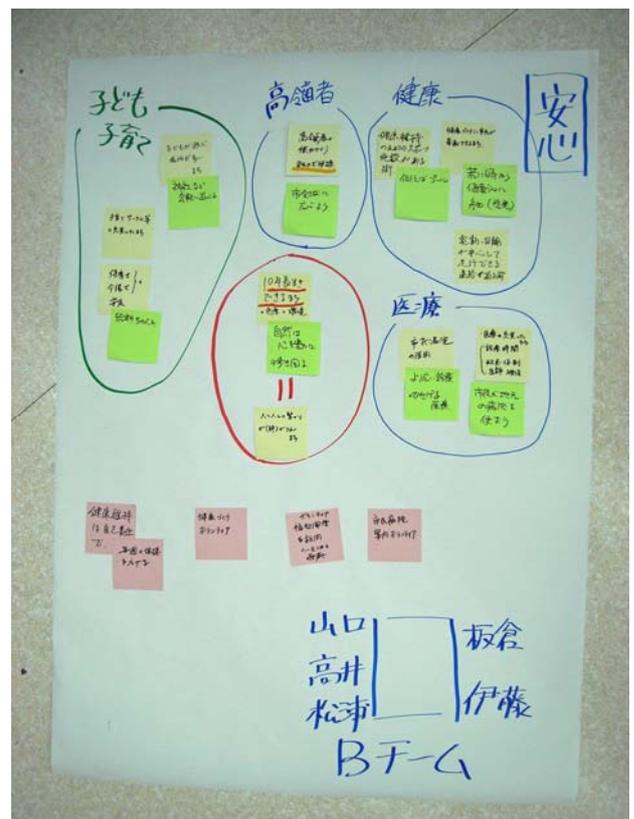
- 健康維持のためのスポーツ施設があるまち
 - 例えばプール
- 健康づくりに市民が参画できるまち
 - 若いときから健康づくりに参加（啓発）
- 電動機付自転車や四輪車が安心して走行できる道路があるまち

【医療】

- 加東市民病院の活用
 - より広い診療科目、稼げる医療
- 医療の充実したまち（診療時間、救急体制、医師確保）
 - 市民が地元の病院を使おう

<市民ができること、やるべきこと>

- 健康維持は自己責任で
- 毎週の体操を広げる
- 健康づくりボランティア
- ボランティアで福祉関係を訪問（ハーモニカと歌声で慰問）
- 市民病院案内ボランティア



◆次回(第2回分野別ワークショップ:「安全」「快適」分野)の予定

日時:平成29年1月14日(土)9:30~

場所:加東市社公民館 2階 研修室

内容:「安全」「快適」分野における加東市の将来像(まちづくりの目標)について

発行:まちづくり市民ワークショップ事務局(加東市協働部企画協働課)

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp

まちづくり市民ワークショップ《第2回分野別「安全」「快適」》ニュース

日時：平成 29 年 1 月 14 日(土)9:30~11:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 ワークショップ
「安全」「快適」分野における加東市の将来像（まちづくりの目標）について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 閉会



当日の会場の様子

第2回分野別「安全」「快適」のワークショップには、10人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第2回分野別「安全」「快適」のワークショップの内容

- ワークショップ方式で、第1回で検討した加東市の「安全」「快適」分野における「良いところ」「良くないところ」を踏まえた分野別の将来像を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報共有（交換）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次の全体ワークショップにおいて発表していただき、分野間で共有し、意見交換をしていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「安全」「快適」分野における将来像を、KJ法という手法を用いて整理していきました。
- まずは、参加者全員が分野別将来像を付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- テーマは「安全」「快適」ですが、その枠にとらわれず、幅広く加東市の将来像を出していただき



ました。

- これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った将来像を整理しました。
- さらに、将来像を実現するために、市民ができることを付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換（共有）を行いました。



◆ワークショップの結果発表(「安全」「快適」分野における加東市の将来像と市民ができること) Aグループ

「安全」等の将来像と市民ができること

<将来像>

- 公共交通が充実したまち
- 公園が多くあり散策できる
- 道路が確立したまち（歩道・車道・自転車道）…趣味が楽しめる、交通事故が減る、道路を中心としたまちづくりを考えられる、人を呼べる
- 田畑が多く、家庭菜園があり、楽しめる
- 自然と調和したまち
- 人口が増え、まちが活気に溢れる中でも、どこかのどかなまち
- 治安が良いまち
- 災害の影響が少ないまち
- 河川災害防止工事が進んでいる

<市民ができること、やるべきこと>

- 移動の足であるコミュニティバスを増やし、高齢者が利用する
- 有機肥料で健康野菜づくり
- クリーンキャンペーンを続け環境を美しくする
- ピオトープ的な水辺公園、安全な遊び場、教育の場整理
- 声かけ運動で近隣のつながりを深める

「快適」等の将来像と市民ができること

<将来像>

- ゆとりのある生活ができるまち（安定した収入がある、自分の時間を楽しめる、災害に強い、地域コミュニティがある）
- 公共・文化施設・環境が整い、発展し、子育てやコミュニティが充実し、一生住むまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 難しいけど一生住み続けよう！という気持ちを大切にする

【発展】

<将来像>

- 医療が充実したまち
- ハイテク技術を導入していくまち
- 「加東ブランド」となる産業があり、高収入が得られかつ観光価値のあるまち
- まちの強みを他市、企業とコラボするまち
- キャラクターの明確なまち
- Facebook、YouTube等SNSで発信→経済効果があるのでは？！

<市民等ができること、やるべきこと>

- 働きやすいまち、企業の模索と提案
- 就労スタイル、雇用形態の見直しと多様化
- 新産業の創出
- 今ある産業のブランド化（豊かな自然を売りにする、奇抜な取組、特徴を与える）
- サービスのポイント化
- 自分が今までに活動してきたこと等を登録制にして公表し、それをポイント化して、逆に自分が別のサービスを受けることができるしくみをつくる

【子育て】

<将来像>

- 子育てしやすいまち
 - ・仕事が安定している
 - ・教育の充実
 - ・安全
 - ・地域コミュニティの活性化
- 小中一貫校ができる（子どもが減る）

「快適」等の将来像と市民ができること

【コミュニティ等】

<将来像>

- コミュニティがあるまち
- 困ったことは助け合いで解決するまち
- 発表の場があるまち（日々の努力を認めてもらえる）
- 文化、スポーツサークル活動が多くあり、発表する場がある良いまち
- 夢や希望を共有できるまち
- 高齢者も無理なく働けるまち
- 自分のしたいことができるまち
- 公共施設が充実したまち
- 文化施設、お寺、神社が各地域にある
- スーパー・コンビニ等による買い物が便利
- （安全に）趣味が楽しめる
- 催事の施設（滝野文化会館、やしろ国際学習塾、東条文化会館コスミックホール）に駐車場を増やして欲しい
- 施設と駐車場を近くにして欲しい

<市民ができること、やるべきこと>

- 趣味を持つ
- まちの施設を利用する
- 好きなサークル活動に参加し、楽しく過ごす
- 地域を大切にする
- 安全なまち（地域でつながりを強くする）



B グループ

<まち全体の将来像>

- 住んで良かったまち
- 揺りかごから墓場まで安全なまち

「安全」等の将来像と市民ができること

【交通安全】

<将来像>

- 交通事故のないまち

【自然】

<将来像>

- 自然環境が整備されたまち
- 人と自然の共生
- 自然に親しみ、田舎暮らしができる（自然を守り、自然に手を加える）
- 都会の人が自然を楽しみ住みたいまち
- 自然の良さを活かしながら、農地を維持し、憩いのある里山をつくる

<市民ができること、やるべきこと>

- 山林の下刈り
- ため池、水路、農道の保全

【年輩者の支援】

<将来像>

- 年輩者がうまく生活できる、病院にかからず健康なまち
- 病気の時にしっかりと診てもらえ、看取られるまち

【子どもの安全】

<将来像>

- 学校の外でも子どもだけで遊べるまち
- 地域の見守りがあるまち
- 地域で子どもを見守るまち
- スピードを出して良い道、出せない道を明らかにして、凹凸を明示
- 歩車分離の通学路や植栽のある道路
- スクールバスの拠点から自宅までの安全の確保

<市民ができること、やるべきこと>

- 少し不便を受け入れる

「快適」等の将来像と市民ができること

【快適なまちづくりで大切なこと】

<将来像>

- 充実したハードを活かすソフトの充実（図書館にプロ（司書等）を配置）

【公共交通】

<将来像>

- 公共交通機関が機能しているまち
- 駅周辺の駐車場の設置、駅までのバスの運行（JR 社町駅は利用者が増加している）
- 高齢者が病院に行けないことがないような交通ネットワーク

<市民ができること、やるべきこと>

- 空き地など用地の提供

「快適」等の将来像と市民ができること

【まち・田舎】

＜将来像＞

- まちと田舎（自然）が共存
- 商店街の活性化（商店街がシャッター通り化している）

【空家活用】

＜将来像＞

- 住環境の整備（空き家対策）

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 空き家バンク制度への登録

【交通安全】

＜将来像＞

- ハード面とともに、歩道の充実や見守り、マナーの向上
- 通学路や人が集まる所への歩道の整備（歩道がない道がある）
- 弱者に優しいまち

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 見守り隊

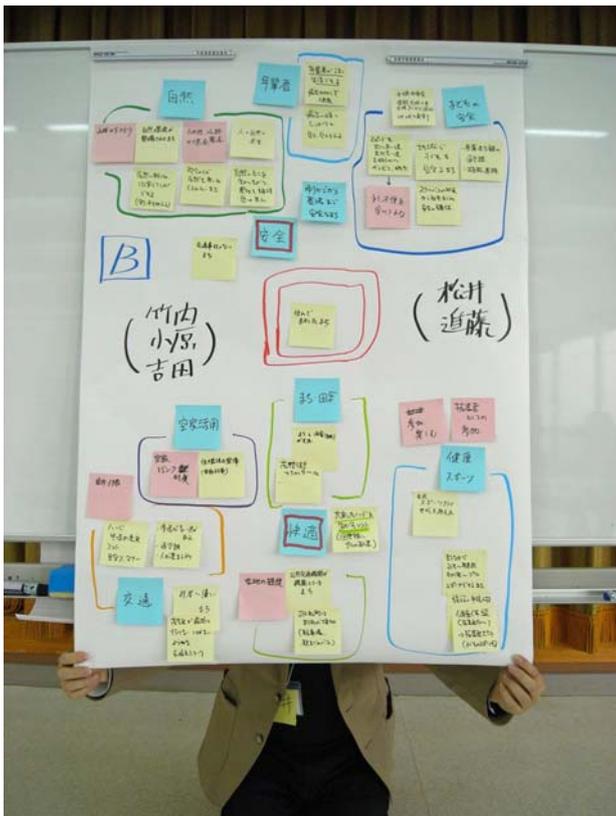
【健康・スポーツ】

＜将来像＞

- 世代を超えた生涯スポーツクラブ
- まちなかで子どもから年長者、初心者、プロスポーツまでできるまち
- 施設の充実と中核人材の育成
- 健康体操（年長者向け）や子どものスポーツの指導者の充実

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 参加し、楽しむ
- 指導者として参加する



◆次回(第2回分野別ワークショップ:「活力」「協働」分野)の予定

日時:平成29年1月26日(木)19:30~

場所:加東市社公民館 2階 研修室

内容:「活力」「協働」分野における加東市の将来像(まちづくりの目標)について

発行:まちづくり市民ワークショップ事務局(加東市協働部企画協働課)

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp

まちづくり市民ワークショップ《第2回分野別「活力」「協働」》ニュース

日時：平成 29 年 1 月 26 日(木)19:30～21:30

場所：加東市社公民館 2階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 ワークショップ
「活力」「協働」分野における加東市の将来像（まちづくりの目標）について
- 3 今後のスケジュールについて
- 4 閉会



当日の会場の様子

第2回分野別「活力」「協働」のワークショップには、13人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第2回分野別「活力」「協働」のワークショップの内容

- ワークショップ方式で、第1回で検討した加東市の「活力」「協働」分野における「良いところ」「良くないところ」を踏まえた分野別の将来像を考えていただきました。
- 参加者は2つのテーブルに分かれて意見をまとめ、最後にそれぞれのテーブルの意見を発表しあって、情報共有（交換）を行いました。
- このワークショップで考えていただいた結果は、次の全体ワークショップにおいて発表していただき、分野間で共有し、意見交換をしていただきます。

◆ワークショップ

- ワークショップでは、最初に前回の振り返りと今回の取組について確認しました。
- そして、ワークショップの進め方の説明の後、「活力」「協働」分野における将来像を、KJ法という手法を用いて整理していきました。
- まずは、参加者全員が分野別将来像を付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- テーマは「活力」「協働」ですが、その枠にとらわれず、幅広く加東市の将来像を出していただき



ました。

- これらの付箋紙を、同じ内容でグルーピングして、タイトル付けをすることにより、グループで話し合った将来像を整理しました。
- さらに、将来像を実現するために、市民ができることを付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- そして、発表する人を自薦、他薦で選び、別のグループに話し合った結果を報告し、意見交換（共有）を行いました。



◆ワークショップの結果発表(「活力」「協働」分野における加東市の将来像と市民ができること) Aグループ

「活力」等の将来像と市民ができること

【山田錦・ブランド】

<将来像>

- 加東市産の農産物がブランド化している
- 加東の山田錦のブランドが確立（生産調整の関係）
- ブランドがたくさんある
- 山田錦が世界的に知られるようになる「Yamadani shiki」
- 新たな特産品がうまれている

<市民ができること、やるべきこと>

- 新作グルメコンクールを開催し商品化する
- 加東市産山田錦使用品に限る日本酒を愛飲する

【自然】

<将来像>

- 自然と動物、人・まちが共存しているまち
- 自然で子どもがたくさん遊ぶまち
- 親子でたくさん遊びに来るまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 地元民のみが知る、昔からある穴場での遊び方を紹介する

【観光】

<将来像>

- 立ち寄りがしたくなるまち
- 全国的に知られる観光地があるまち
- 観光・特産で知名度が向上しているまち
- 大阪から近く外国人に人気の観光地にする

<市民ができること、やるべきこと>

- トイレや道端等での清潔感を意識する

「活力」等の将来像と市民ができること

【雇用】

＜将来像＞

- 雇用が多いまち
- 空き家を活用するまち
- 今以上に大企業が増え、市民税が減額されるまち

【産業】

＜将来像＞

- 休耕田がなくなっている
- 後継者不足を解消し、休耕田が活用できているまち
- 新規産業が創出しているまち
- 加東市にあって他市にない産業を育てるまち
- ニッチ産業で国内シェア100%の製造業者があるまち

「協働」等の将来像と市民ができること

【情報発信】

＜将来像＞

- 市民主導で市のPRをしていけるまち

＜市民ができること、やるべきこと＞

- SNSでPRする（アンバサダー）
- Facebook等、SNSで情報発信する
- SNS等で、いい店、いい場所の情報発信をする
- テレビ・ラジオ等への投稿（まちの情報等）

【市民主体の活動】

＜将来像＞

- ボランティアなど住民の自発的な活動ができているまち
- 色々な市民の方々が得意分野を活かせるまち
- ボランティアグループと行政の協働でコミュニティが広がるまち
- 市民主導の全市的なイベント等が開かれるまち

＜市民ができること、やるべきこと＞

- イベントに積極的に足を運んでみる
- 委員などに参加する
- ビジョン委員会との協働をすすめる



「協働」等の将来像と市民ができること

【コミュニティ・コミュニケーション】

<将来像>

- いじめゼロのまち
- 移住者にも優しいなど他を受け入れやすいまち
- オープンで親しみやすいまち welcome !
- 外国の方が住みやすいまち
- 開かれた明るいコミュニティが多くあるまち
- 学校や企業、行政で連携しているまち
- 教育行政と民間教育機関との連携ができるまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 家庭内のコミュニケーションの活発化「子どもとたくさん話をしよう！」
- 学校の授業を市民が見学する
- 民間校長をむかえる
- 世代がちがう人との交流
- 古い習慣を押しつけない
- 地域の方々同士の声かけ
- 若い世代の声を聞ける「まち人」になる

【全体】

<市民ができること、やるべきこと>

- 趣味の延長という感覚から行動する
- ボランティアグループとして協働、賛同、参加する
- 知ろうとする



B グループ

「活力」等の将来像と市民ができること

【まちの魅力】

<将来像>

- 魅力を発見できるまち
- 「おいしい」を伝える（発信する）まち
→「おいしい」＝「美味しい」「良いことがある」
- 今ある産業を大切につなげていきつつ、新しいことにチャレンジできるまち
- 市民がいきいきと活躍し、大好きだと思えるまち
- みんなが住みやすく大切にしたいくなるまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 自分で産業を起こす
- 市民の愛着を育む
- SNSなどで市民が「良さ」をアピール
- 市民が情報発信（観光ボランティア等）
- 身の回りのことに興味を持つ（交流や発見につながる）
- （とりあえず）動く

【農業】

<将来像>

- 農業体験ができるまち
- 農業の多様化（ポスト山田錦、例えばやしらの桃）
- 山田錦プラスアルファをPRして観光にも来てもらえるまち

<市民ができること、やるべきこと>

- 体験に参加する
- 地産地消

【自然を活かした憩い】

<将来像>

- 自然を活かしたまち
→スポーツ（アスレチック）やリゾート別荘
- 別荘体験ができるまち
- いこいのまち（温泉、ゴルフ、釣り、山歩き、おもちゃ王国）
- ホタルのまち
- 山を利用して健康増進できるまち
- 水辺で出会い、くつろげるまち
- 釣り針のまち（釣り針の生産、釣り場としてのため池の活用）

【文化産業】

<将来像>

- 玉岡かおるさんに忠臣蔵を作ってもらおう（小説）
- 文化の活用（NHK大河ドラマで玉岡忠臣蔵）
- 本を活かしたまち（図書館で本の貸出件数が多い）
- 「加東四国88ヶ所巡り」の復活

「活力」等の将来像と市民ができること

【活力創造の環境（活かす特性）】

＜将来像＞

- 産業都市（大阪、神戸に近い）
- 雇用の確保（広域利便性は良いが、市内の交通の便が悪い）
- 交通の要所
→交流拠点（行くにも、集うにも）
- 交通の便を活かして観光に来てもらえるまち

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 学校で学ぶ（歴史、産業、特産品など／子どもから大学生まで）

「協働」等の将来像と市民ができること

【交流】

＜将来像＞

- 世代を超えた交流が生まれるまち
- いろいろな人が交流できるイベント（フェス）があるまち
- 地区における行事や日常のつながり
- 市民が何かを作りあげることができるまち
- 企業との交流
- 市内で交流（地区や寺社で交流）

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 市役所や議員と対話して理想を追求する
- 自分が加東市のために何ができるかを考え、行動する

【イベント企画】

＜将来像＞

- 市民がつくるイベント
→マンネリからの脱却

＜市民ができること、やるべきこと＞

- イベントをする

【学生等】

＜将来像＞

- 学生ボランティアがさかんなまち
- 加東市以外のところからきた学生と加東市の人とが交流できるまち
- 商店街のチャレンジショップ

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 加東市のいいところ、いいものをSNSで発信
- 学生による商店街のチャレンジショップの運営
- 商店街など市民が市内の商店を積極的に利用

「協働」等の将来像と市民ができること

【コミュニティ等】

＜将来像＞

- 趣味を楽しみ、お互いを認めあえるまち
- ふれあい事業とのコラボ
- 近隣の人々と友好をつくるまち
- 結びつきを大事にするまち（多くのコミュニティにて）
- 教育のまち（みんなで子どもを育てる）
- ダイバーシティを大切にすまち
- 弱者を守るまち

＜市民ができること、やるべきこと＞

- 弱者のために命を張る

【おもてなし】

＜将来像＞

- 訪れる人をもてなすまち
- 外国人をもてなすまち
- （四国 88ヶ所巡りで）外からの人を温かくむかえるまち



◆次回(第2回全体ワークショップ)の予定

日時：平成29年2月4日(土)13:30～

場所：加東市社公民館 2階 研修室

内容：分野毎の将来像(まちづくりの目標)を踏まえて、加東市全体の将来像を考える

発行：まちづくり市民ワークショップ事務局(加東市協働部企画協働課)

電話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp

まちづくり市民ワークショップ《第2回全体ワークショップ》ニュース

日時：平成 29 年 2 月 4 日(土)13:30～15:30

場所：加東市社公民館 2 階 研修室

◆ 次 第 ◆

- 1 開会
- 2 ワークショップ
分野毎の将来像（まちづくりの目標）を踏まえて、加東市全体の将来像を考える
- 3 今後の予定等について
- 4 閉会



当日の会場の様子

第2回全体ワークショップには、35人の市民等の皆さんに出席していただきました。

◆第2回全体ワークショップの内容

- 分野別ワークショップで検討した加東市の分野毎の将来像（まちづくりの目標）を踏まえ、加東市全体の将来像を考えていただきました。
- グループワークに先立ち、各グループから分野毎の将来像（まちづくりの目標）を発表していただき、情報共有（交換）を行いました。
- その後、3つのグループ（各分野の2グループが合体して新しいグループを結成）で加東市全体の将来像を検討し、その結果を発表していただきました。

◆ワークショップ

- 分野毎の将来像（まちづくりの目標）を踏まえ、加東市全体の将来像を、KJ法という手法を用いて整理していきました。
- まずは、参加者全員が加東市全体の将来像を付箋紙に書き込み、模造紙に貼り込みながら、意見交換（共有）をしました。
- 加東市全体の将来像を検討した後、その将来像を実現するためには「人づくりの視点」「まちづくりの視点」「くらしづくりの視点」等において何が大切かを整理しました。
- そして、発表する人を自薦、他薦で選び、結果を報告し、意見交換（共有）を行いました。



◆ワークショップの結果発表（加東市全体の将来像）

「文化」「安心」グループ

全体将来像

『笑顔で「おはよー」いえるまち』

- ・誰もが笑顔で過ごせるまち
- ・「おはよー」が聞こえるまち

「笑顔」は、健康、元気など、人の幸せな姿を象徴
「おはよー」は、人と人とのつながりやコミュニティが
明るくすがすがしい様子を象徴

～ 将来像の視点 ～

①ひとづくり

- ・元気で明るいまち
- ・命を育めるまち
- ・健康づくり
- ・あいさつから人との交流が始まる
- ・あいさつは安心・安全にもつながる
- ・一人ひとりを大切にする小学校教育、地域を大切にする→あいさつする小中高生
- ・声のかけあい助けあい
- ・コミュニティづくり、あたたかい人間関係、家族の和、地域の和
- ・自発的な活動
- ・1人ひとりが成長し、そして地域の人々が成長していくまち

②まちづくり

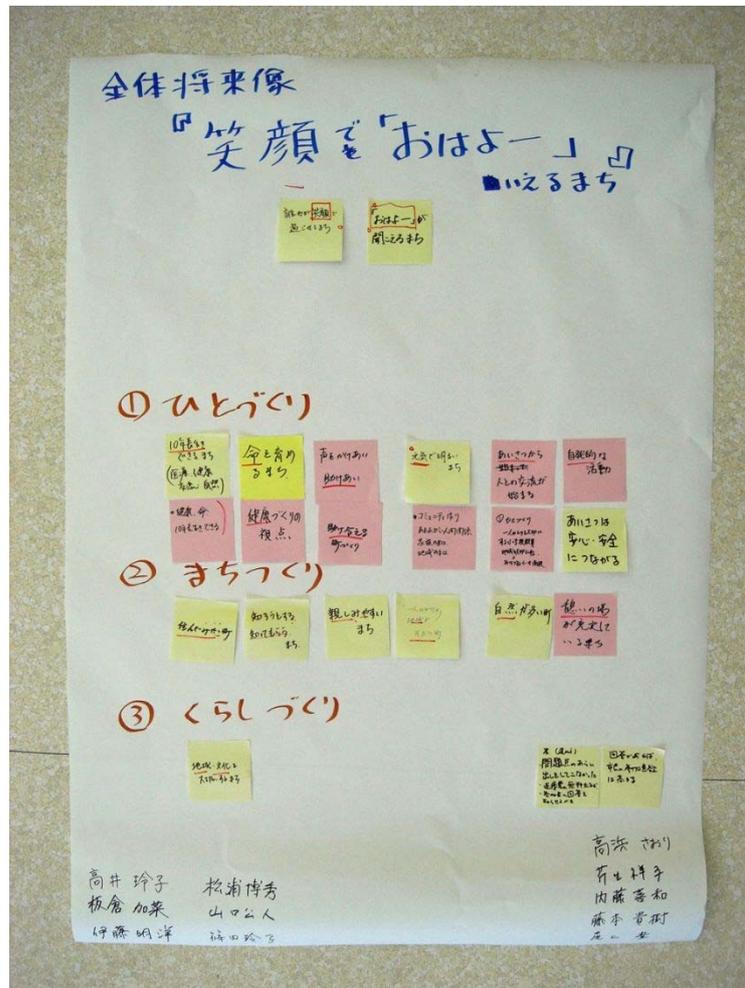
- ・住んでみたいまち
- ・知ろうとする、知ってもらうまち
- ・親しみやすいまち
- ・自然が多いまち
- ・憩いの場が充実しているまち

③くらしづくり

- ・10年長生きできるまち（医療、健康、交流、自然）
- ・地域・文化を大切にするまち

★その他意見等

- ・これまで、「良いところ」を重視して問題点の洗い出しをしてこなかった。医療費の無料化の遅れなど、問題点があると思う。
- ・今回のワークショップで出されたさまざまな意見が総合計画にどのように反映されるのか、市としての回答が必要。言いつばなしでは意味がないし、回答があれば今後の参加意欲が高まる。



「安全」「快適」グループ

全体将来像

『住んで良かったまち』、『住んで良かったを広める』

- ・いろいろなことがつながるまち
- ・ゆとりのある生活ができるまち

～ 将来像の視点 ～

①ひと

- ・リーダーの育成
- ・自分のことばかりでなく、他人を助けることができるゆとりがある人材
- ・教育が人材育成につながる
- ・かせぐことができる人間の育成
- ・市民参画がポイント、参加できない人はアンケート回答などで参画
- ・若い人のためのまちかど体操、ヨガ（三世代交流のきっかけづくり）
- ・加東市の文化産業に関する教育の実施
- ・ダンス、絵、その道のプロに会う、ギネスに挑戦みたいなワークショップを開く
- ・後継者の支援
- ・思い出のあるまちとして同窓会を応援！
- ・イベント・行事への声かけ運動
- ・サークル活動
- ・育児が低コスト、低リスクでできる

②まち

- ・産、学、住の連携
- ・自然との共生に労力をおしまない
- ・カフェ、サロン、伝の助アート、アンテナショップ
- ・公共施設への投資としての市民の参加、運営、維持、管理
- ・歩道、外灯、パトロール（見守り）があり、明るく安全
- ・ステージでの発表等が同じ人ばかりで人が集まる市のイベントがマンネリ化しているため、3年毎に内容を変えたりする
- ・公共施設や設備が充実している
- ・負担にならないが安定した税収が確保できる
- ・発展しても素朴な雰囲気損なわない

③くらし

- ・手厚く無理のない福祉制度がある
- ・人と地域のつながりがある
- ・人が地域に多く出てきて関わりあえる
- ・観光産業、観光ボランティアで人と物を動かす
- ・近所同士の交流が多い
- ・あいさつから始める
- ・生活基盤が安定している。衣食住の充実
- ・医療の充実（医師や病院の充実）
- ・地域レベルのイベントの支援
- ・公園やピオトープ等の安全・安心の遊び場がある
- ・交通安全
- ・安定した収入と雇用がある
- ・市民の交通手段の充実
- ・生涯スポーツを楽しむことができる
- ・自分の時間が楽しめる
- ・時間がゆっくりと流れていく
- ・交通事故がない

④その他

- ・出会いを重視し、街コンでカップルになって結婚した方に家をプレゼント
- ・農作物のブランド化、有機肥料によるミネラルが豊富な野菜作り



「活力」「協働」グループ

全体将来像

○キーワード1「魅力」

- ・魅力を知って、愛着の持てるまち
- ・魅力を発見できるまち
- ・市民が誇りを持てるまち
※眠っている歴史を知ってもらおう
※子供達に誇りを持ってもらう加東市にする
- ・文化あふれるまち
※まちづくりは人づくり
- ・親しみやすいまち（人や意見を受け入れやすい）
- ・人と人とが結びつくまち

○キーワード2「自発」

- ・自発的な活動（チャレンジ）ができるまち
- ・個人の趣味等が活かせるまち
- ・いろいろなことがプラスになるまち
- ・やる気のあるまち
→農業もしんどいもの。やる気がないと良いものはない

○キーワード3「家族」

- ・家族を育むまち

～ 将来像の視点 ～

○すべてのキーワードに共通すること

- ・道路体系の整備
→特に南北の幹線

○キーワード1「魅力」

①ひとづくり

- ・小さい頃から加東市の魅力を教育に取り入れる
- ・ボランティアガイド、ボランティアトレーナー（スポーツ）
- ・産業や歴史の情報発信（市民への）
- ・情報受信（マッチング）
→ノウハウや技術、やる気を持った人とそれを必要とする機会・人との出会い・結びつけの仕組み

②まちづくり

- ・自然資源の活用
→山、川、ホテル、ミヤマクワガタ、温泉
- ・市民協働による観光資源の発掘・整備

③くらしづくり

- ・山田錦を広めるための媒体づくり
→山田錦は「いい！」というイメージがあるが、どれを選べばいいかわからない
- ・魅力発見、発掘イベントの開催（市民主導で）

○キーワード2「自発」

①ひとづくり

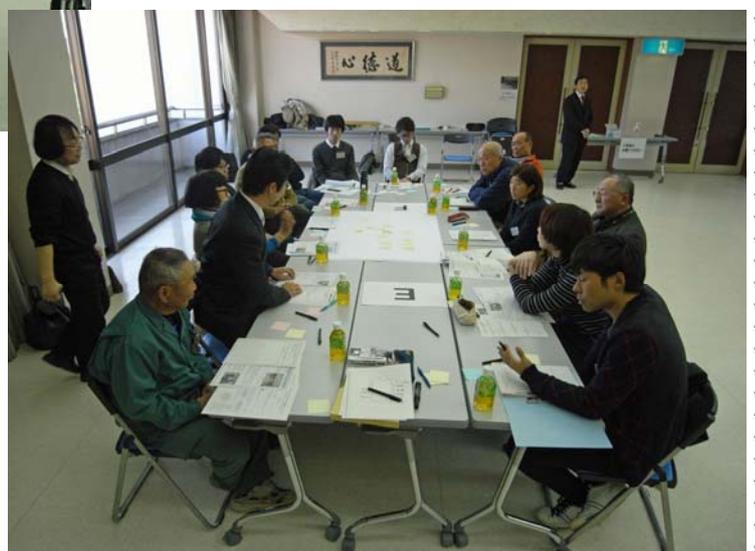
- ・創業特区みたいな加東市ならではの制度（新しいことを始める人へのサポート）

③くらしづくり

- ・山田錦を使って新しい取組をする企業の支援
- ・加東市ブランドの構築
→山田錦を使用した「伝の助うどん」の売込

○キーワード3「家族」

- ・コミュニティバスの充実（高齢者の増加への対応）



◆その他

- ・本ワークショップの結果については、基本構想及び基本計画の策定に係る基礎資料とします。
- ・本ワークショップにおける分野（グループ）分けは、第1次総合計画の政策体系（「文化」「安心」「安全」「快適」「活力」「協働」）を基に行いましたが、次期総合計画においては、その体系を再構築する方向で検討を進めていますので、現行の政策体系と異なる場合があります。
- ・これまでのワークショップの結果をまとめたニュースをホームページ等で公表し、市民に情報提供します。
- ・総合計画案がある程度まとまった段階で、本ワークショップに参加していただいた方に、その内容を報告します。

発行：まちづくり市民ワークショップ事務局（加東市協働部企画協働課）

電 話 0795-43-0389

E-mail suishin@city.kato.lg.jp

まちづくり市民ワークショップ参加者名簿

※50音順、敬称略

◇「文化」「安心」分野

氏 名	
市 民 等	市 職 員
板 倉 加 菜	篠 田 玲 子
伊 藤 明 洋	芹 生 祥 子
尾 上 豊	高 井 玲 子
時 井 世 津 子	高 濱 さ お り
内 藤 喜 和	
藤 本 貴 樹	
松 浦 博 秀	
山 口 公 人	
山 本 洋 介	

◇「安全」「快適」分野

氏 名	
市 民 等	市 職 員
小 原 蒼 溪	岸 本 茉 里
上 月 尚 子	北 島 恭 子
樹 梨 林 三	進 藤 恭 輔
柴 垣 良 一	藤 崎 純 平
竹 内 敏 郎	吉 田 文
豊 田 洸 輔	
藤 井 哲 夫	
増 田 一 貴	
松 井 敏	

◇「活力」「協働」分野

氏 名	
市 民 等	市 職 員
芦 沢 和 弥	石 田 幹 治
石 田 強	小 笠 原 和 慶
井 上 義 幸	田 村 梓
臼 井 欣 之	長 濱 泰 栄
大 西 世 津 子	長 谷 川 武 史
神 戸 洋 一	花 野 圭 佑
國 井 隆 行	山 本 啓 太
長 野 沙 紀	
村 井 容 子	

